

いくぶん



第18号 2013.10.25

平成25年度も地域と共にセンターは活動しています。

秋冷の候、皆様方にはご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は育児文化研究センターの活動に多大なるご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

今年度も4月の前期センター会議で平成25年度の事業計画や組織運営の承認・報告後、多くのご支援をいただきながら各事業は順調に運営しております。年度当初には未確定でした講演会の案内(4頁)も他のセンター活動とともにご覧ください。昨年度、河崎道夫先生に「自然の中で育つ子ども」というテーマでご講演をいただきました。今年度は子どもも大人も、保護者も子育て支援者も「自然と遊ぼう」というテーマで命の営みを感じる講演会にしたいと思っております。

近年の子どもたちは、様々な基本的な動きを経験できる運動遊びの減少や、単一スポーツの身体活動によって、動きの多様化と洗練化の両側面が未熟な段階にとどまっていると言われていています。体力や運動能力の低下のみならず、転んで手をつくことが出来ずに頭や顔面に怪我をしてしまう子どもが増加しているようです。我が国の子どもたちのライフスタイルの崩壊が叫ばれる中、センターの親子広場で「身近な自然環境」を感じる工夫を紹介しています(2頁)。

平成25年度も残り数カ月となりましたが、今後ともセンター事業にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

育児文化研究センター 宮崎つた子



おやこひろば たかたん



今年度は、スタッフ2名のほかにアドバイザーの教員2名が関わり、ボランティアの方とともに、ひろばの運営にあたっています。おやこひろばは3年目となり、近郊の方をはじめ、遠方の方や初めての方等たくさんの方にご利用いただいています。利用者が多いことから、安全面を考慮して年齢別に分散、また、その日の利用者の人数によって制限をさせていただいています。あそびの場では、既成の玩具のほかに、スタッフや学生が作った玩具を少しずつ増やしながらあそびの環境を整えています。また、戸外での散歩で見つけてきた自然物や小さな生き物などに触れて遊ぶ場も取り入れています。子どもたちは、それぞれに動きも活発になり、周りへの好奇心も少しずつ芽生えてきています。玩具で遊ぶだけでなく、いろいろな物への興味や関心を引き出していくことができるような環境を今後も整えていきたいと考えています。

お母さん方には、くつろいだ雰囲気の中でほっとする時間を過ごしていただきながら、子どもが様々な力を身につけていくことができるようにするためには、どのように関わっていけばよいのか共に考え、子育ての支援に関わっていきたいと思っています。

おやこひろば たかたん

4月の活動写真
おやこひろば はじまりです!



七夕飾りをつくろう!



6月の活動写真

7月の活動写真
新聞紙で遊ぼう!



たかたんのおねえさんとあそぼう!



8月・9月の活動写真

5月の活動写真



「ソラマメのおうちふわふわだね」

家で収穫したソラマメを持ってきていただいたことをきっかけに、みたり、手に触れたりしながら親子の話題がひろがりました。ソラマメの皮の部分をそと、ゆっくり開けてみると、ふわふわのわたに包まれたソラマメが顔を出して、子どもお母さんも「うわーすごいね、ふわふわのお布団にねんねしているね」とびっくりするやらうれしいやらで大喜びでした。じっくりみると、柔らかさや色合い等いろいろな発見をすることができました。また、「ソラマメのお布団」の絵本も一緒にみると子供たちも歓声をあげ、楽しいひと時を過ごしました。本物を見ることは感動体験になります。ぜひ普段の生活の中に取り入れましょう。

「お散歩で見つけたよ」

ひろばでも戸外に出る機会がありました。室内でひと遊びしてから外へ出かける準備をして、親子がそろって学外に出ました。抱っこをもらって風の心地良さを感じたり、ちょうちょうが飛んでいるのをみたり、室内とは違った環境の中でゆったり過ごしました。

自然に触れる機会が少なくなってきている現代、高田の森の自然の中で見つけた草花を使って、親子が楽しく遊ぶことに気づいてもらう場にもなりました。

平成25年度 子育て応援隊

7月現在

	月日	日	行事名	人数	依頼団体
1	6月23日	日曜参観	親子の触れ合い遊び	6	津市立南立誠幼稚園
2	7月5日	夕涼み会	各コーナーの遊び補助	14	津市栗真保育園
3	7月6日	ぐみの木まつり	模擬店の補助と保育応援	4	ぐみの木保育園
4	7月7日	ぐみの木まつり	模擬店の補助と保育応援	1	ぐみの木保育園
5	7月7日	キッズおしごと広場	地域企業のイベント補助	18	三重県立みえこどもの城
6	7月13日	高田保育園夏まつり	夏祭りの各コーナー補助	20	高田保育園
7	7月13日	ほうりん保育園夏まつり	子どもと盆踊りや各コーナーの手伝い	5	ほうりん保育園
8	7月14日	高岡ほうりん保育園夏まつり	子どもと盆踊りや各コーナーの手伝い	7	高岡ほうりん保育園
9	7月19日	納涼大会	各コーナー企画・運営、バザーの補助	8	まつさか幼稚園
10	7月12日	しんまち夏まつり	パルーンアート	4	津市立新町小学校
11	8月3日	夏祭り	各出店の手伝い	8	さくら保育園
12	8月3日	済美学院納涼祭	各コーナーの手伝い	5	三重済美学院
13	8月15日	ふくしまつり	子どもたちの制作手伝い	7	安濃中央総合公園
14	8月24日	僕も私も忍者に変身講座	子ども達と忍者マイ衣装作成	6	白子公民館
15	8月29日	乳幼児教室	サマーフェスタに伴う応援	5	白子公民館
16	10月5日	わくわくフェスタ	あそび広場の企画・運営	28	みえこどもの城
17	10月6日	わくわくフェスタ	あそび広場の企画・運営	29	みえこどもの城

今年度もたくさんの学生が「子育て応援隊」として、いろいろな地域で子ども達と触れ合う経験をさせていただきました。ありがとうございました。

～前期センター会議～

年2回開催予定の前期センター会議は4月16日(火)に開催されました。会議では前期センター事業についての話し合いと、グループ研究会等の説明がありました。

1.センター事業について

- (1)平成24年度事業報告
- (2)平成25年度事業計画



2.研究会等の報告

(1)グループ研究会

- 1)「津市における子育て支援の現状と課題」
- 2)「子育て支援のひろばについて」
- 3)「子どもの基本的な生活習慣の発達基準と育児」

(2)津市委託研究事業

後期センター会議は12月4日(水)を予定しています。

～第35回定例研究会～



今年度は、「高田短期大学育児文化研究」に掲載予定の研究を報告していくこととなり、第35回定例研究会は以下の報告がありました。参加者からも活発な意見交換がありました。

- 1.「ASEAN諸国の子どもたちの遊びの実態に関する実践報告」
池村進 研究員
- 2.「幼児の合奏導入のための音楽あそび」
山本敦子 研究員



第36回定例研究会は11月1日(金)

第37回定例研究会は平成26年2月12日(水)を予定しています。

おやこひろば
たかたんMAP



津市委託事業

津市ひろば関係者交流会事業(つながりひろば)

第1回 日時:5月23日(木)18:00～
場所:イオン久居店

内容:「子育て応援広場 はぐはぐ、
NPOどんとの活動紹介」

第2回 日時:8月29日(木)18:30～
場所:サンデルタ香良洲

内容:「地域で連携し、思いをかたちに」香良洲地域の取り組みと現状を知りましょう」



津市子育て支援者事業

今年度は、参加者の希望が多かった「親子のかかわりや支援内容」を中心に企画をしました。

第1回6月27日(木)18:30～20:30

対象:子育て支援者

テーマ:「親子のかかわり支援—ホッとするひろばのつくり方—」

講師:太田和子先生 第2回は10月22日(火)に開催。



津市親支援事業

お母さん、お父さんを対象にした「子どもとの愛着形成やリラクゼーション」についての研修会を下記に実施しました。

第1回 6月10日(月) 10:00～12:00

さつき保育園キッズ「ママのベビーマッサージ」

第2回 6月17日(月) 10:00～12:00

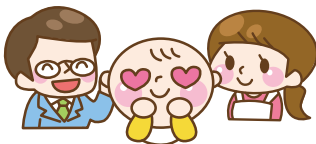
会場:子育て支援センターろまん「ママのベビーマッサージ」

第3回 8月12日(月) 10:00～12:00

会場:安濃子育て支援センター「パパのベビーマッサージ」

第4・5回 9月7日(土)10:00～12:00

会場:美里福祉センター「ファミリー教室」



新入会 研究員の紹介



私は、4月より子ども学科で「保育内容—表現」の授業と、キャリアサポーターとして就職支援を担当しています。また、「おやこひろばたかたん」にも月曜日に関わっています。40年間の幼稚園生活で学んだことや、幼稚園の園開放(あそび会)を通して

学んだことを、生かしていけるように努力していきます。

私は、学生さんとも、「おやこひろば」に参加していただいている保護者の方とも、関われることを本当にうれしく感じています。

現在社会では、人間関係が希薄になり、地域のコミュニケーション力が不足しております。そんななか、「おやこひろばたかたん」は、いつも温かい雰囲気話しやすい場所にしていきたいと思っています。微力ですが、自分なりにがんばりますのでよろしくお祈りします。

稲田 直子



40年間の保育士生活を卒業し、ご縁があって4月から高田短大に非常勤講師として勤務させていただくことになりました。保育一筋で多くの子どもと、保護者、保育士と貴重な体験を重ねてきました。人と人のつながり、命と命のかかわり、心と心の

の通いあいが、私を人として育ててもらったように思います。積極的ではない性格でしたが県内の保育士の方や東海北陸の方、また全国の役員会の方との出会いで新しい発見もあり「大海を知る」ことの大切さと知る喜びを感じました。40年の間には楽しかったことも、そうでなかったこともあります。経験を通して得たことが、学生の皆さんにお役に立てればと思います。

環境の違う生活で、戸惑いながらの毎日です。ご指導よろしくお祈りいたします。

水野 潤子



講演会のご案内

平成26年2月1日(土)

- 保育・子育て支援関係者の方
- 子育て中の保護者の方
- 自然環境に関心のある方

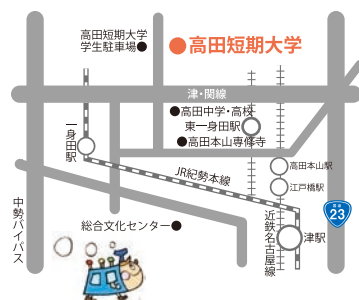
ぜひお越し下さい！
一般の方も大歓迎です！

※申込等、詳しくはチラシをご覧ください。

センターへのお問い合わせ・アクセス

高田短期大学
育児文化研究センター

〒514-0115
三重県津市一身田豊野195
TEL. (059) 253-7020 (センター直通)
(059) 232-2310 (代表)
FAX. (059) 232-6317
Mail ikubun@takada-jc.ac.jp



編集後記



今年度も地域の皆様、子育て支援関係者の方々、地域の協力・連携団体のご支援・ご協力でたくさんのセンター活動や学生支援が行えています。今後も当センターの専門分野を活かして地域貢献・地域連携を展開して参りますので、ご協力をお願いいたします。